



れんけいだより

2010年1月号 第4号



年頭にあたって

院長 秦 公平



松江赤十字病院は、地域の基幹病院たることを自認し、時代の要請もあって急性期病院を標榜することとなり、自己完結型医療から地域完結型医療への転換を図ってきました。おかげをもちまして平成15年に地域医療拠点病院、平成19年には地域医療支援病院の承認を得ることができました。新病院建設中ということもあり、まだ十分には機能していませんが、登録医制度や開放型病院制度も始めております。

これからの時代に当院が生き残っていくには、常に医療の質を高めていく努力を続ける以外方法はないものと思います。そのためには当院が抱える人材や機材を、当院のあるべき姿の現実に向かって集中させ、効率よく活用できる体制をとる必要があります。限られた資源を有効に使うには、必然的に医療の機能分担に行き着く訳であります。医療制度改革の方向性を考えてみますと、一病院が全ての機能を持つことはもはや無理な時代になってきたのではないのでしょうか。そして医療機能の観点からは、当院は当然のことながら、入院機能を重視すべきだという方針が導かれることとなります。

即ち、基本方針として、外来機能を絞り、入院診療に力を入れることとしました。当院の外来は、先生方から紹介を受けた患者さん(慢性期疾患の急性増悪の患者さん、診療機器を備えた当院でないと診断できないような疾患の患者さん)、特殊疾患の患者さん、がんの化学療法を受けておられる患者さん等に絞る形にしております。紹介状をお持ちでない新患の方からは、3,150円の選定療養費をいただくことしております。救命救急はもちろん当院が受け持つべき役割です。このような方針の結果、外来患者さんは一時の半分ほどに減り、直近の紹介率は62.2%、逆紹介率は75.0%に達しています。慢性期疾患で安定期の患者さんは、できるだけ診療所の先生方に診ていただきたいと思っております。

言うまでもなく、地域完結型医療を目指すのであるならば、急性期から亜急性期、回復期、慢性期(療養型)病院への連携、そこから診療所、介護療養施設、在宅へのきめ細かい連携が絶対に必要になります。つまり、この地域の医療者の持てる力を終結して、患者さんの診療・治療・機能維持を行うのであり、それぞれの病院・診療所・施設等がそれぞれの機能に応じた診療を行うこととなります。一施設が手を抜くことは許されません。そのようなことがあると、この流れは停滞してしまいます。医療人の「この地域で医療を完結するのだ」という決意が試されることになりましょう。お互いに得意の領域で切磋琢磨し、不得意な部分では連携することが重要であります。

当院では医療連携を進めようと、平成13年に地域医療連携室を設置しましたが、これからはもっともっと密な連携が必要になるだろうと考え、昨年これを地域医療連携課として発展・独立させました。まだ職員は少ないのですが、経過を見ながら人員を増やしていく必要があるだろうと思っております。新病院完全竣工時には地域医療連携課としてきちんとした一室を備える予定であります。

地域の医療は急性期病院だけではもたず、逆に診療所だけでももたないことはいまでもありません。一方がこけたら片方もこけるという関係です。これらの医療関係施設がお互いの立場を尊重しつつ、緊密な連携を取り合って、地域医療を行えるよう希望します。もっとお互いの行き来を頻繁にし、顔の見える関係を作り上げていきたいと思っております。そのために地域医療連携課を十分にご利用ください。当院からも出かけていきます。皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。



新病院建設の進捗状況 Part2

平成21年12月28日 **高層棟**(地下1階・地上14階)の引渡しが終わりました

新病院(高層棟)構成図



ナースステーション



エレベーターホール



屋上ヘリポート



病室入り口



ICU・CCU



エコー室



血液検査室

移転に伴うお知らせ

月日	曜	予定	一般外来診療	救急外来診療
2月6日	土	電子カルテ運用リハーサル		
2月7日	日	新聞広報		
2月8日	月			
2月9日	火	近隣病院長・地域委員 内覧(15:00~)		
2月10日	水	開業医 内覧(13:00~16:00)		
2月11日	木			
2月12日	金			
2月13日	土	電子カルテ運用リハーサル		
2月14日	日	一般 内覧(10:00~16:00)		
2月15日	月			
2月16日	火			
2月17日	水			
2月18日	木			
2月19日	金			
2月20日	土	電子カルテ運用リハーサル		
2月21日	日			
2月22日	月			
2月23日	火			
2月24日	水			
2月25日	木			12:00にて受け入れストップ
2月26日	金	病棟移転	休診	全面休止
2月27日	土		休日	全面休止
2月28日	日		休日	全面休止
3月1日	月	 ご不便をお掛けいたしますが、よろしくお願いいたします。	初診患者だけの診察対応 受付時間は10:00~11:30に制限	9:00~患者受け入れ開始
3月2日	火		通常	通常

新病院に伴い、新電子カルテ導入の為、職員一同操作練習に励んでいます。

内覧会の日には駐車場の混雑が予想されます。できるだけ、公共交通機関でお出かけいただきますようお願いいたします。

3月1日は初診患者だけの診察対応とさせていただきます。受付時間の変更がございますので、よろしくお願いいたします。

* 放射線科予約検査につきましては、3月初旬は移転に伴い、混乱が予想されます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成22年度からは低層棟部分の工事が始まります

◆工事工程◆

- 平成22年 3月 ~ 本館改修(仮設)
<引越し>新館→本館へ
(医局・病歴室・図書室他)
新館解体、低層棟着工
- 平成23年 12月 低層棟竣工
- 平成24年 1月 ~2月 引越し
- 3月 低層棟 開業<全館開業>
- 7月 外構工事終了<全体完成>



地域医療勉強会 実施報告

* 第2回 地域医療勉強会 平成21年10月21日(水)・22日(木)

テーマ:「感染症なんてこわくない! インフルエンザ・感染性腸炎の対策を考えよう」

講師:感染管理認定看護師 看護師長 角紀子

参加者:65名(うちアンケート回答51名)

満足度:満足26名(50.9%) ふつう24名(47.1%) 不満足0名 無回答1名(2%)

役立ったか:役に立った31名(60.8%) ふつう19名(37.2%) 役に立たなかった0名 無回答1名(2%)



* 第3回 地域医療勉強会 平成21年12月2日(水)・3日(木)

テーマ:「お正月を上手に乗り切る食事療法!

～コントロールを乱さないためのコツをつかんでワンポイントアドバイスをしていこう～

講師:管理栄養士(糖尿病療養指導士) 安原みずほ

参加者:9名(うちアンケート回答9名)

満足度:満足9名(100%) ふつう0名 不満足0名

役立ったか:役に立った8名(88.9%) ふつう1名(11.1%) 役に立たなかった0名



参加人数に差はありますが、それぞれに満足していただける内容であったようです。今後も続けていきます。ご参加くださいね!

研修会等のご案内

*第568回 松江赤十字病院集談会

平成22年2月16日(火) 19:00～ 松江赤十字病院 別館3階 多目的室

「松江赤十字病院Award大会」

オートプシーイメージングによる死因推定

放射線科 西原圭祐

当院における院外心肺停止患者に対する低体温療法の検討 一治療の標準化・マニュアル化の試み一

循環器内科 城田欣也

EO注入療法を施行した症候性肝のう胞 5症例の検討

消化器内科 相見正史

80歳以上の高齢者に対する消化器外科緊急手術症例における臨床病理学的検討

第2外科 大江崇史

重症虚血枝に対する新たな挑戦 一Limb Salvageへのチーム医療一

心臓血管外科 瀬戸崎修司

胆嚢捻転症の診断 一当院で経験された4症例の検討より一

研修医 横山桃子

下部胆管・膵頭部重複癌の1切除例

研修医 塚田圭輔

乳癌術前化学療法についての検討

乳腺外科 向井俊貴

* 第4回 地域医療勉強会

平成22年2月3日(水)14:00～15:00 松江赤十字病院 厚生棟会議室

平成22年2月4日(木)14:00～15:00 松江赤十字病院 厚生棟会議室

「在宅の生活を支える緩和ケア」～看護師の役割～

緩和ケア認定看護師 川上和美



* 外来糖尿病教室

3月17日(水)10:00～13:30 松江赤十字病院 厚生棟会議室

「糖尿病とともに歩む」

糖尿病治療の基本にかえて 糖尿病・内分泌内科副部長 垣羽寿昭

食事療法の実践 その⑤ 管理栄養士(糖尿病療養指導士) 安原みずほ

手軽にできる運動～続けるためのアドバイス～ 病棟看護師(糖尿病療養指導士)

松江赤十字病院 地域医療連携課 地域医療連携係

TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261